

阪南中学校だより

NO. 5

令和7年6月25日（水）

発行：大阪市立阪南中学校長 中 西 洋

学びの街！阿倍野

生徒の皆さんには、この阪南中学校のある阿倍野の街には、古くから大阪有数の文教の街（学びの街）と呼ばれ、学びに関わる様々な施設（学校）のあったことを知っていますか。

まずは、**大阪大学**の前身の一つ、旧制大阪高等学校が大正11年に設立され、昭和35年まで、阪南中学校の校区内にあったそうです。また、**大阪公立大学**の前身の一つ、大阪府女子専門学校も、大正13年に設立され、阪南中学校に近い万代池の湖畔に、その校舎があったそうです。

高等学校では、大正元年に私立桃山中学校が設立されました。ご存じの**桃山学院高等学校**です。そして次いで大正8年に大阪府立天王寺中学校（現**天王寺高等学校**）が、翌年には私立天王寺女学校が設立（現**四天王寺高等学校**）。大正10年には私立明淨高等女学校（現**明淨学院高等学校**）が、続く大正12年には大阪府立阿倍野中学校（現**阿倍野高等学校**）と大阪府立住吉中学校（現**住吉高等学校**）が設立されています。続けて大正13年には、私立大谷高等女学校（現**大谷高等学校**）と大阪市立工芸学校（現**工芸高等学校**）が、大正15年には私立精華実践女学校（現**精華高等学校**）がこの阿倍野の街にあったそうです。実はこの阿倍野の周りは、古くから教育に対する意識が高く、国鉄（現JR）や近鉄線・阪堺線が集まり、交通の便も良いことから、この大正時代に高等学校や大学が集まったそうです（今では、この阿倍野から郊外へ移転していった学校もありますが！）。

生徒のみなさんも聞いたことのある学校があったと思います。この阪南中学校の卒業生が通った、あるいは通っている高等学校もたくさんあります。みなさんの住むこの阿倍野は、そんな高等学校や大学のゆかりの地域であったのです。知っておいてください。そして、3年生だけでなく、これから2年生も1年生も、自らの将来について考える機会をたくさん持ってほしいです。たくさんの高等学校などの進学先について、しっかりと知って、自らの進路の決定につなげてほしいと思っています。そんなきっかけになればと思い、校長室にある阿倍野区にまつわる文献（「阿倍野区50年の歩み」・「住吉村誌」等）を開いて、調べてみました。

→裏面に続く